

高知憲法速報

№120 2007. 7. 6
発行：高知憲法会議事務局
088-872-3406
編集人 事務局 徳弘嘉孝

改憲阻止へ国民的な運動を

改憲手続き法成立で、改憲策動は新たな段階に入りましたが、一方で「戦争をする国」づくりに対する国民的な批判と反撃も強まっています。国民的な運動を広げようと各団体の取り組みが進んでいます。

全労連は8月1日から開く評議員会で、来年の通常国会までに憲法改悪反対500万人署名に取り組むことを決める予定です。最低賃金の引き上げをはじめ、貧困と格差を是正する「国民的な運動」を進め、秋には「国民大集会」を計画しています。

九条の会は、第2回全国交流集会を11月24日に東京・日本教育会館で開くことを決めました。3月に開催した「憲法セミナー」の内容をブックレット(定価300円)にして普及しています。

全建総連や航空連などが加盟し、85万人の組合員を擁する憲法改悪反対労組連絡会は6月14日、署名運動の出発点になるキックオフ集会を開催しました。漫画冊子を作製(全建総連)、「戦時中に真実の報道を行ったら」と仮定する新聞の作製(新聞労連)など、それぞれの取り組みを計画しています。

一方自民党は「憲法審議会」を6月15日に開催。中山会長は憲法改悪に向けた国民運動を盛り上げるため、改憲派の「九条の会」ともいえる「国民投票の会」を小選挙区ごとに設置することを求めました。

自衛隊の国民監視は憲法違反

日本共産党が入手・公表した陸上自衛隊・情報保全隊の内部文書は、自衛隊が自衛隊の活動に批判的な市民団体、政党、労組、ジャーナリスト等の動向を密かに監視していたことを明らかにしました。このような監視活動をする根拠は憲法にも法律にも全くなく、国民の集会、結社、言論、出版その他一切の表現の自由を保障した憲法21条に違反することは明白です。消費税増税や医療費負担増反対の集会も監視されており、現在も続けられているとすると、憲法改悪に反対する私たちの行動や集会も対象になっている可能性があります。戦争中の憲兵の復活を思い出した人も多いでしょう。活動の全容解明と活動の即時中止を要求します。国会で居直り答弁をした久間防衛大臣は「原爆しょうがない」発言で辞任しましたが、引き続き追究しなければなりません。

署名集約状況 7/6現在

会員団体名	署名目標	到達
県労連	20,000	3,976
県教組		1,133
高教組	10,000	221
私学教組		30
自治労連		1,778
県国公		2,145
福祉保育労	3,000	70
平和委員会	5,000	702
民青同盟		
新婦人	20,000	14,055
商工団体連合会	15,000	16,494
自由法曹団		
地域人権連		
高退協		100
治維同盟		
梅原憲作		
共産党県委員会	40,000	2,454
医労連		77
民医連		12,502
学習協		
山下道子法律事務所		
退教協		750
退婦教		3,340
農民組合		
その他		732
街頭署名		3,844
小計		64,403
母連		11,449
うち重複集約(報告)分		9,269
有権者過半数目標/到達合計	331,000	66,583
こうち九条の会街頭署名		5,036

中芸九条の会結成 6月30日

田野、安田、奈半利、北川、馬路の5ヶ町村の住民で作る「中芸・憲法九条を守る会」が、6月30日結成され、高知県下の九条の会は47になりました。田野町で開かれた結成総会には36人が参加、安芸市九条の会筆頭代表委員の南熙さんが「私の戦争体験と憲法」と題して講演しました。賛同者は75人になっています。

「九条の会福井」は6月9日、結成2周年記念映画の会を開き60人が「ガラスのうさぎ」を鑑賞しました。「いの九条の会」は7月1日集会を開き、映画「戦争をしない国日本」を上映。青木宏治先生が講演しました。